

中学校教科間連携による 授業力向上実践研究の取り組み

本校の現状

- ①小規模校⇒各教科1名の教員配置
(家庭科においては免許教科外担任)
- ②教科会ができない⇒指導方法の共通認識や日常のOJT等、
切磋琢磨する機会に恵まれていない
- ③学力的な課題⇒
 - ・伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと
 - ・図示し用語を用いて課題を解決する説明の表現力
 - ・学習意欲や自尊感情の低い生徒もいる。

課題解決に向けて

- ・授業改善のための協議や授業研究の場の保障
- ・組織力の向上
- ・授業スタンダードによる安心できる学習環境作り
- ・意欲の高揚と学習効果を高める工夫
- ・他教科との連携による学習の質の向上
- ・個別支援の方策の研究

課題解決に向けて

- 【学校教育目標】
優しさと温かみがあり、主体的に活動できる生徒
- 【校内研究テーマ】
主体性とコミュニケーション能力の育成
～教科間連携による「主体的・対話的で深い学び」に向かって～
- 【チーム会研究テーマ】 主体的な学びを生む工夫の研究

中学校教科間連携による授業力向上実践研究の取り組み

- ・教科の枠を越えたチーム編成
- ・週時程でのチーム会の実施
- ・日常的なOJTの充実
- ・教員の授業力向上
- ・組織的・協働的な授業改善

チーム編成

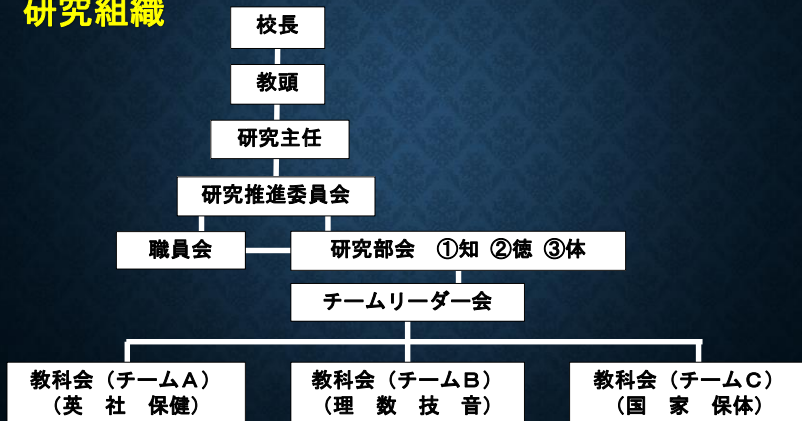
- 【昨年度】
- ・関係性の深い教科
 - ・話し合いで決定



- ・異動により...
- ・若い先生が増えた

- 【今年度】
- ・リーダーの配置
 - ・研究2年目、新任教員、若年教員、講師のバランス

研究組織



チーム会 研究計画

学力調査に関わること

全校研に関わること

チーム研に関わること

PDCAサイクル

学年	教科	研究テーマ	研究内容	実施時期	担当者	備考
1年	英語	英語の授業力向上	英語の授業力向上	10月	山田	
2年	数学	数学の授業力向上	数学の授業力向上	11月	田中	
3年	国語	国語の授業力向上	国語の授業力向上	12月	佐藤	
4年	理科	理科の授業力向上	理科の授業力向上	1月	鈴木	
5年	社会	社会の授業力向上	社会の授業力向上	2月	高橋	
6年	総合	総合の授業力向上	総合の授業力向上	3月	斎藤	
7年	英語	英語の授業力向上	英語の授業力向上	4月	山田	
8年	数学	数学の授業力向上	数学の授業力向上	5月	田中	
9年	国語	国語の授業力向上	国語の授業力向上	6月	佐藤	
10年	理科	理科の授業力向上	理科の授業力向上	7月	鈴木	
11年	社会	社会の授業力向上	社会の授業力向上	8月	高橋	
12年	総合	総合の授業力向上	総合の授業力向上	9月	斎藤	

チーム会では



専門ではない目線(生徒目線)で指導案を検討することで、新たな発想を得ることができた！

生徒の視点にたって疑問や意見を出し合うことで授業の改善点が明確になった！

授業づくり

他教科の指導案や学習指導要領を読んだことで、新学習指導要領の改定のポイントを広い視野で理解することができた！



チーム会では



様々な視点で意見を出し合い、授業や問題作成の改善点が明確になった！

評価問題検討・分析

テストを事前に検討して「思考・判断」の部分に意見がもらえるのはありがたい！

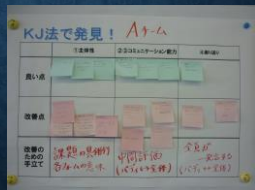
授業で生徒に考えさせるポイントがしほりやすくなった！

共通した課題が見つかり、次に生かして問題を作成することができた！

チーム会では



全校研 研究協議



チーム会では

講師招聘研修



チームで協議すると視点が多くなり勉強になる！

オンデマンド研修



カリマネ表作成



チーム会では

本時の目標に迫り、意欲を高めるようなねらいの提示・工夫

- ・「授業スタンダード」「振り返りの仕方」「ノートのきまり」など、日々の授業構成や学習規律についての協議
- ・単元構想等の情報交換
- ・生徒指導の3つの機能を生かした授業づくりについて
- ・目指す生徒像の確認や行動統一について(①「聴く力」の育成 ②「気付く力」の育成)
- ・各種学力調査の分析
- ・学習指導要領の趣旨理解について(オンデマンド視聴)
- ・独立行政法人次世代型教育推進センター作成のアクティブ・ラーニング実践例

他教科での学習内容との関連を理解

教科間の連携の必要性

学びを深めるためには

検証 I

学習状況アンケートより(H30当初比)

- ① 「問題(課題)になっていることの中から取り組んでみたいことを見つけることができる」 72.0%⇒83.3% (+11.3)
- ② 「収集した情報(方法)を関連づけたり、比較したり、推測したりして分析することができる」 64.0%⇒66.7% (+2.7)
- ③ 「目的に応じて、文や図、グラフなど、さまざまな方法を使って考えを整理することができる」 48.0%⇒70.8% (+22.8)
- ④ 「自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように工夫している」 56.0%⇒87.5% (+31.5)
- ⑤ 「家庭学習で未来ノート(予習)に取り組んでいる」 60.0%⇒75.0% (+15.0)

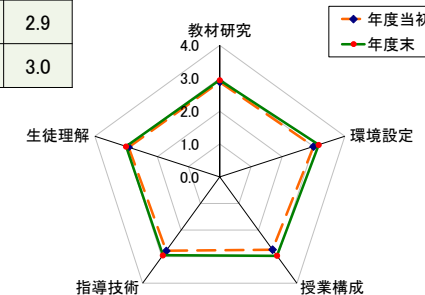
進捗管理表

月	計画	実施状況
4月	・4日(水)...研究テーマ設定、研究授業計画作成 ・12日(木)...ノートづくり、板書、家庭学習の内容検討 ・20日(金)...自決課題の結果分析①-1 ・26日(木)...考査シートの作成①-2	研究テーマを確認し、年間の研究授業や指導案検討等の計画を立てた。授業スタンダードの確認をし、振り返りの仕方についても協議した。全国学頭について、問題を解いたり解答状況を確認したりした。また、考査シートを使って生徒の課題について話し合った。
5月	・1日(火)...国語の指導案検討会①-1 ・10日(木)...分析結果共有会①-3 国語の指導案検討会①-2 研究テーマ推進のための協議 ・17日(木)...中間テストの問題検討、家庭科の指導案検討会②-1 ・31日(木)...国語の事後検討会①-3	国語科改善プランについて協議したり、研究授業に向けての指導案検討を行った。また、中間テストにおける記述式問題を検討し、実施後の分析を行った。全国学頭分析共有会及び学習状況調査の結果を受け、全校体制で取り組むことなどの具体的な内容を話し合った。
6月	・7日(木)...中間テストの結果分析・改善策、家庭科の指導案検討会②-2 ・14日(木)...保健体育の全校研指導案検討会①-1 ・21日(木)...期末テストの問題検討、家庭科の事後検討会②-3 ・28日(木)...標準学力調査結果分析②-1	家庭科公開授業や保健体育全校研に向けて指導案検討及び事後協議を行った。また、授業改善に向けて、独立行政法人次世代型教育推進センターに掲載されているアクティブ・ラーニングの事例について学習した。新学習指導要領の趣旨(家庭科)についてもオンデマンドを使用し、学習した。
7月	・5日(木)...保健体育の全校研指導案検討会①-2 ・12日(木)...期末テストの結果分析・改善策、保健体育の全校研事後検討会①-3 ・19日(木)...1学期教科反省、1学期総括、成果と課題 ・26日(木)...1学期改善策	保健体育の全校研関連の協議を行った。国語科授業改善プランについて指導案検討を行った。期末テストに関しては、記述式問題の検討を行い、結果を受けて分析を行うとともに改善策について話し合った。また、目指す生徒像の確認や行動統一について、どのような場面でもどのように組み込むかという点について話し合った。

検証 II

授業力チェックシートより(H30当初比)

要素	教材研究	環境設定	授業構成	指導技術	生徒理解
年度当初	2.9	3.0	2.7	2.8	2.9
年度末	2.9	3.2	3.0	2.9	3.0



検証 II

授業力チェックシートより(H30当初比)

- | | |
|---|----------------------|
| ① 「生徒にねらいをつかませ、課題意識をもたせている」 | 3. 0⇒3. 3
(+0. 3) |
| ② 「教科の特質を生かした方法で自分の考えを表現できるよう、手立てを工夫している」 | 3. 0⇒3. 0
(±0) |
| ③ 「ねらいを達成するために、話し合いや交流の目的を明確にしている」 | 2. 7⇒2. 8
(+0. 1) |
| ④ 「学習内容に有用感ももてる適用問題や評価問題を実施している」 | 2. 3⇒2. 7
(+0. 4) |
| ⑤ 「生徒と本時の学習のまとめを行い、生徒自身が学びを振り返る時間を設けている」 | 2. 7⇒3. 0
(+0. 3) |

成果と課題

各チームに若年の教員がいることで若年教員の研修の場となっていて良かった！

成果

- ・チーム会で話し合った様々な学習活動を、各授業で実践していることが生徒の学力向上につながっている。
- ・授業スタンダードに基づいて、各教科等で自分の考えを書く活動を行っていることが「まとめ表現する力」となっている。
- ・予習と復習の期間を決めることで、予習に対する意識を持たせ主体的な姿につながっている。

学校としての課題を意識できるようになった！

他教科の既習資料を活用したり、生徒の学習状況を把握したうえで指導することができた！

生徒理解や授業づくりについて何でも相談できる場となって良かった！



研究テーマなど、視点の共有がしやすくなった！

勉強になることばかりなので継続して来年も行いたい！

課題

- ・「どのように伝えたら良いのか」と工夫する力
- ・「何が分かるのか」という気付く力

これから

- ・授業スタンダードによる安心できる学習環境作り。
★ ⇒個人思考⇒集団思考⇒  
- ・継続的に様々な学習活動にチャレンジしていく。
- ・重点的に取り組む内容について教員の行動統一を図る。
 - ①聴く力の育成……聴く視点を明確にする。
 - ②気付く力の育成……交流で気付いた・分かったことは赤ペンで書く。
- ・「付けたい力」+「教科の内容」による連携

主体的に学ぶ姿

コミュニケーション能力の向上